

女性の視点を防災に活かそう！

防災と男女共同参画

中京区で活躍する女性たちと一緒に
暮らすように、備える。を可能にする
『KYOTOわたしの防災ノート』を作成

久保 智里さん

京都市男女共同参画センター ウィングス京都



地域の防災に男女共同参画の視点を取り入れていくためのアイデアを探しておられる久保さん。中京マチビト Café では、「防災と男女共同参画」をテーマに意見交換のテーブルを持ち、いろいろ方にはげまされ、地域に広めていくためのヒントを得られました。

ウィングス京都では、今年3月16日に、「わたしの・みんなの・暮らしを守る力を高める！『わたしの防災ノート作り』」と題して講座を開催。女性の視点で防災に備えるため、地域の女性たちと協力して、女性の立場で、いざという時の備え・心構えや、地域の防災・減災について話し合い、『KYOTO わたしの防災ノート』を作成されました。



中京マチビト Café での様子

防災ノートでは、女性が選ぶ持ち出しグッズを紹介。災害時に女性のニーズが伝わりにくいことや、女性が受ける被害、地域のリーダーが女性への配慮を学んでおくことの重要性、そして何よりも普段からの近所付き合いの大切も伝えられています。

様々な場所、様々な方法で、女性の視点を社会に活かすことの大切さも伝えられています。

※『KYOTO わたしの防災ノート』はウィングス京都にて配布中。



防災ノートの作成に向けて、地域の女性、市の防災担当者と一緒にアイデア出し

取組んでみてのご感想

女性の視点を防災に活かそうと、ご近所の女性消防団員さんや民生委員さんに呼びかけて、女性の視点のノート作りが始まりました。講座までの準備期間は話し合いを重ねながら、多様な視点で備えることの大切さを実感。完成した『KYOTO わたしの防災ノート』を使って、これからも女性の視点を活かす取り組みを進めていきたいと思います。

連絡先：075-212-8013 (ウィングス京都 事業企画課)

メール：jigyo@wings-kyoto.jp

HP： <http://www.wings-kyoto.jp/>